

大阪湾

安全な暮らしを支える

浮体式防災基地



国土交通省近畿地方整備局

地震災害などの救援・復旧活動に威力を発揮します。

1

整備目的

浮体式防災基地は、地震災害時などの緊急時に被災地に曳航し、避難生活及び復旧活動を支援することを目的として整備するものです。

2

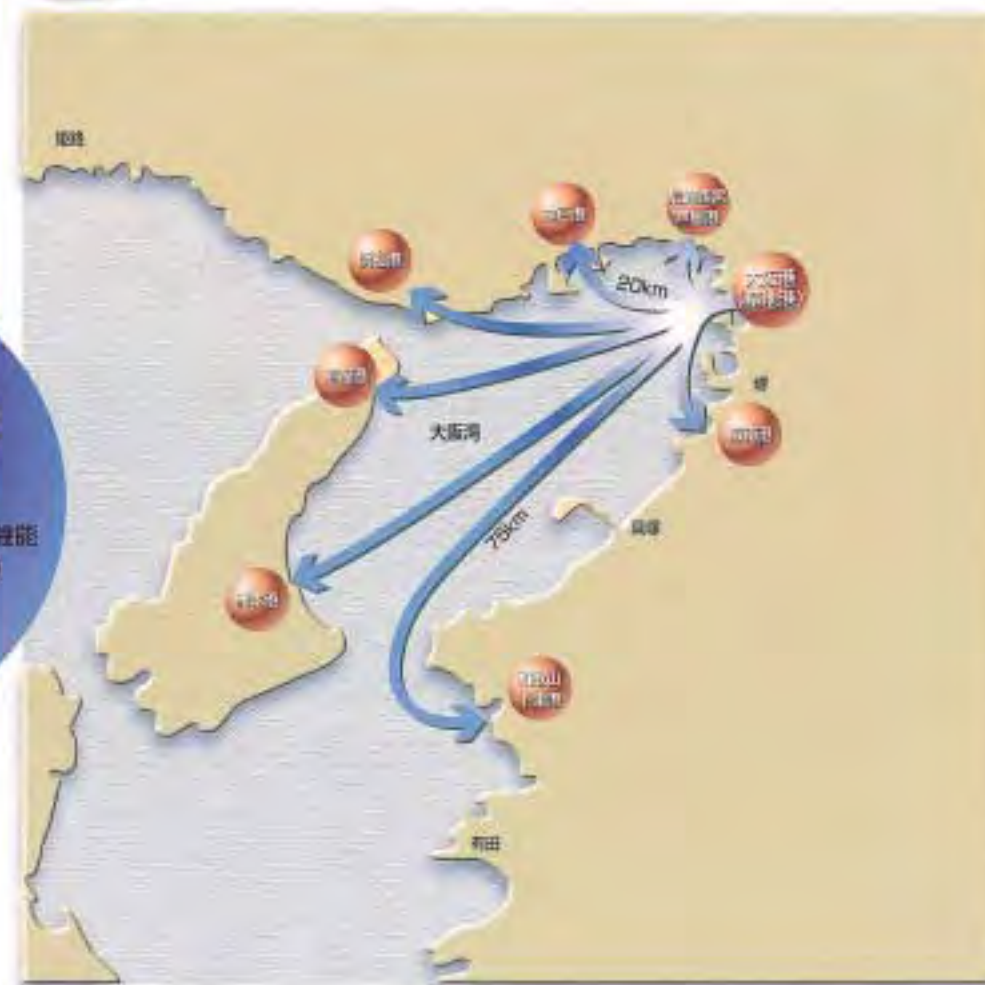
防災基地の機能

防災基地は浮体の特徴を最大限活かして、緊急時に必要な場所に移動し、緊急活動を支援するために次のような機能を有しています。

3

支援活動の範囲

支援活動の範囲は下図に示す大阪湾及び紀伊水道の一部を想定しております。



浮体式防災基地の概要

防災基地や船舶の係留基地として活躍します。

4

防災基地としての特色

防災基地としての特色は次のようなことがあげられます。

- ・緊急時の移動に配慮した離脱可能な係留と走行性を高めるカットアップされている浮体底面
- ・1,000D/Wトンの貨物船程度の救援船が係留可能
- ・中小型ヘリコプターの離発着可能なスペースを確保
- ・甲板上にテント用のフック金具を有し、25トン吊りトラッククレーンが走行可能
- ・救援物資などを保管できる倉庫(ペットボトル20万本保管可能)を確保



5

常時の利用

浮体式防災基地は、常時においては此花区に係留し、港内周遊船、港内アクセス船及び都心アクセス船などの利用に供する計画です。浮体の規模は2,000Gトン程度の旅客船の係留が可能です。

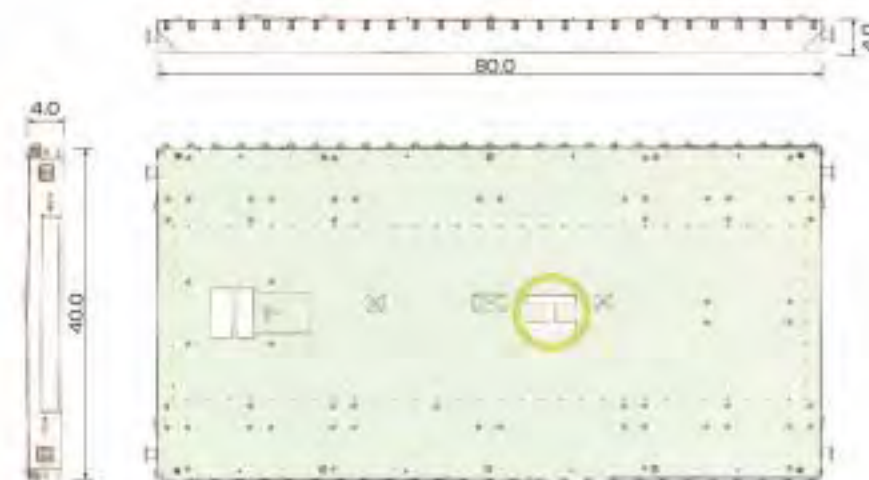
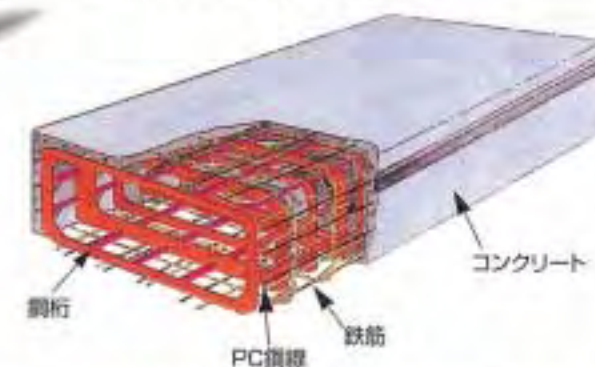
また背後には、大規模テーマパークのユニバーサル・スタジオ・ジャパンがオープンし、多くの人々が訪れることが期待されます。浮体式防災基地は、海の玄関口としても利用されます。



6

構造諸元等

PCハイブリッド構造図



浮体構造	PCハイブリッド
長さ×幅×高さ(m)	80m×40m×4m
乾舷(常時)	1.0m
乾舷(災害時)	1.5m
係留方法(常時)	ドルフィン・ワイヤー併用係留
係留方法(災害時)	アンカー方式
常時係留場所	大阪港此花区桜島
浮体総重量	6,930t

浮体式防災基地の概要

緊急時に備え防災 訓練や出動マニュアルを整えます。

7

防災訓練

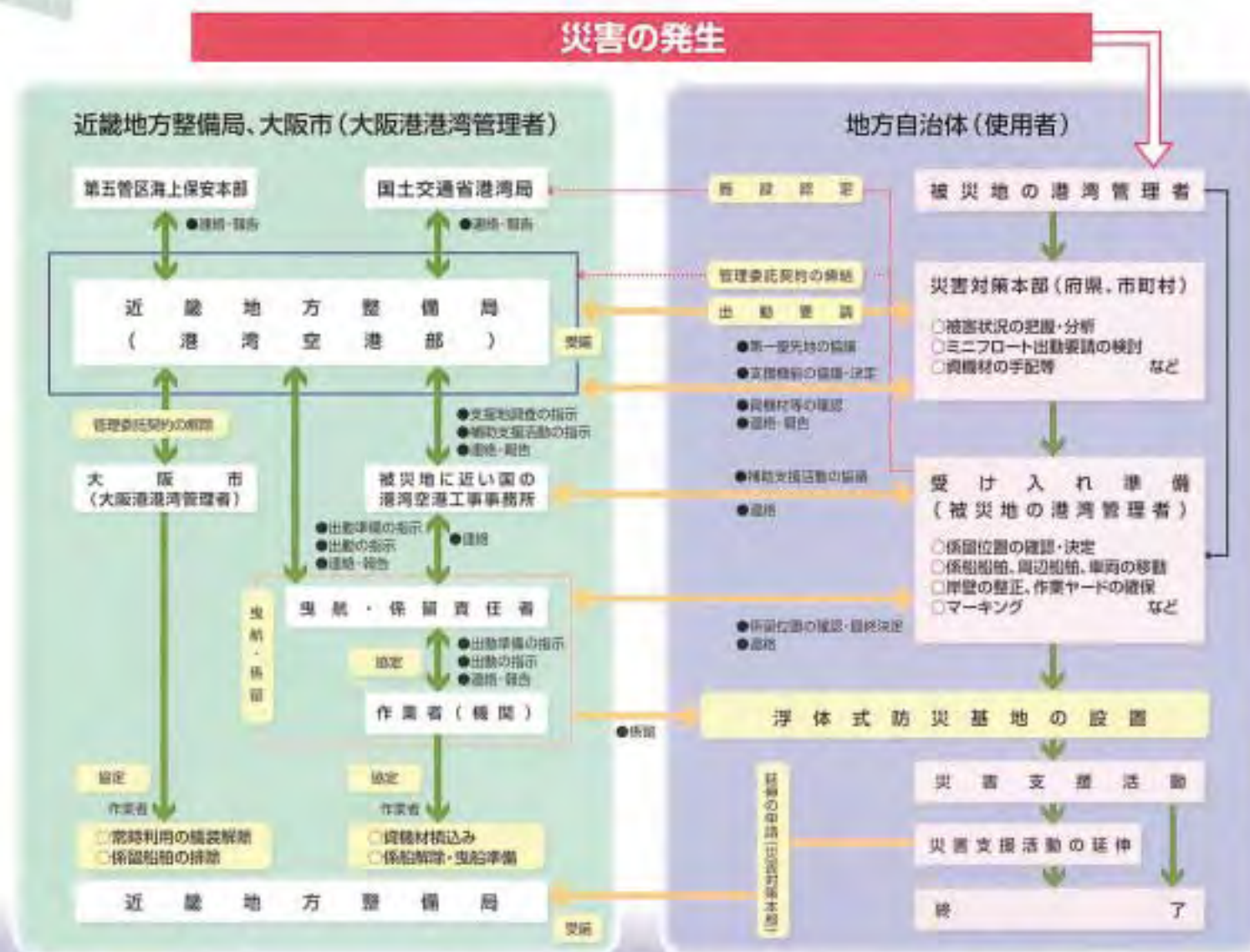
- ・緊急時に対応するため防災訓練を実施します。
- ・浮体の引出し、曳航、据付けなどの訓練を行い緊急時に備えます。



8

災害時の出動連絡フロー

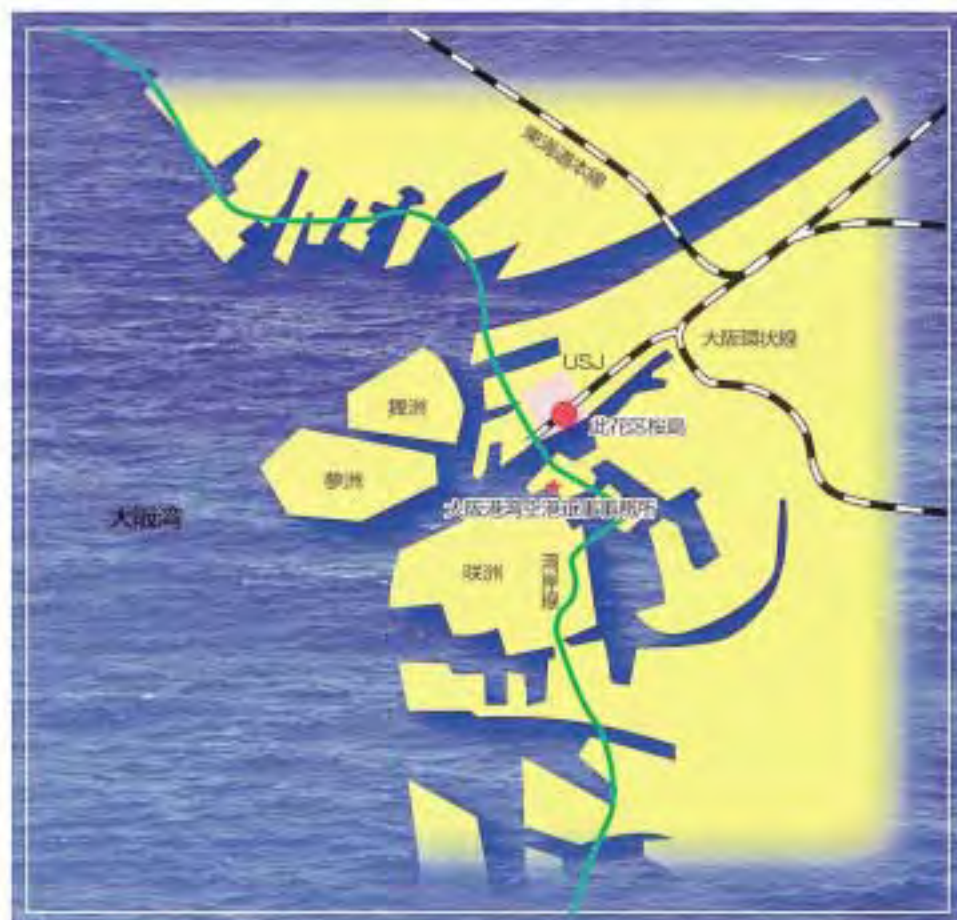
- ・浮体式防災基地は以下の流れにより、「出動～支援活動」を行います。
- ・この連絡フローは大阪港以外の港湾区域において災害が発生し、浮体式防災基地を使用する場合の一例です。



この連絡フローについては見直し等もありません。



港の元氣は暮らしの元氣
輸出入品の99.8%は港から



国土交通省近畿地方整備局
大阪港湾空港工事事務所

〒552-0021 大阪市港区築港2-1-2 (大阪港湾事務所)
TEL.06-6574-8561 FAX.06-6577-2265
ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~osk-port/>